

線形混合効果 (linear mixed effects: LME) モデルによる言語実験データの解析法

木山 幸子
名古屋大学・ポスドク研究員

日時： 2011年4月20日(水) 18:15-19:45
場所： 名古屋大学全学教育棟・北棟405号室

従来の心理言語学の領域では、言語実験で得られたデータについて、被験者分析と項目分析という2つの分散分析が行われてきた。これに対してBaayen (2008) は、言語実験データの解析にLMEモデルを適用することを提案した。被験者と項目のそれぞれをランダム要因とみなし、それらのランダム効果を踏まえた上で、検討したい要因(固定要因)の効果が有意であるかを分析する手法である。本講演では、日本語母語話者の漢字認知に関する実験データ(玉岡・木山, 準備中)を題材として、SPSS社の統計ソフトを用いたLME分析の過程を紹介する。